

市政に関する地域座談会実施報告書

◇平成24年度 第7回（通算65回） 市消防団第3分団

開催日時	平成24年8月30日（木）午後7時19分～午後8時50分		
会場	南部地区公民館	出席者数	23人 （男23・女）
地域座談会の内容（市長講和・質疑応答の内容等）			
質疑応答			
① 子育て中。休みになると市外の大型店舗（イオン、ららパーク等）に行ってしまう。市内にも建設してもらえないか。			
● 進出企業としては、商売として成り立つかが問題で、市で建てるということとはできない。ただ、映画館や書店が入るなど、西郡全体として何らかの考慮をする必要がある場合など、土地のあっせんなど支援はできるのではないかと思う。ただ、既存の小売店のこともあり、利便性と市内業者のバランスを見ながら考える必要がある。			
② 子育て世代では、出産、育児を考えた時、市立病院も含め小児科が少なく、夜間の病気等を考えると不安で、小児科を増やしてほしいという声が多い。 また、安心して子育てができるように保育所を増やして欲しい。 それに、他の市で行っているように、母子手帳配布時に保育所情報等もあればよいという声がある。寒河江市ではどうなっているか。			
● 小児科は市内に2つ。西郡全体でも5つしかない。小児科になる先生が少なくなってきた、絶対数が不足しているので、医師の確保は、なかなか難しい。緊急の病気の際は、県が実施している「小児救急電話相談」#8000番の活用をしていただきたい。 また、病後児保育については動き出しているが、小児科の医師が必ず必要なため、今後西郡全体での対応が必要と考えている。 保育所の増設についてだが、現在設置している保育所の定員と実際の保育需要にずれが生じてきている。また、幼稚園と保育所の関係について国の動きもある。現在の保育所の建物もだいぶ老朽化している。今後、児童数の動向と、各地区の実情を考慮しながら再編も含めて総合的に整備を行っていきたい。 母子手帳と保育所情報の関係については、持ち帰って後日回答する。			
③ 自動車運転ができないと、バス路線から外れるところは交通が不便だ。たとえば南部地区では、市立病院に行くには不便だ。他の市で循環バスがあるようだが、寒河江市では実施できないのか。 また、子供が学童保育に行っているとき、子供は異年齢の多くの子供と遊			

んだり勉強したりできて喜んでいましたが、祖母がいるということで4年生から辞めさせられた。親が、安心して子育てと仕事を両立するためには、学童保育の充実等もっと働きやすい環境整備をお願いしたい。

- 循環バスについて、山交のないところはデマンドバスを実施している。南部地区は路線バスがあるため対象外となっている。ただ、場所によっては不便なこともあると思う。山交との関係もあるが、今後循環バスの実施に向け調査研究していく。

次に、学童保育だが、制度上基本的には3年までになっているようだ。ただ、子育て支援の充実には、年齢の引き上げも必要なのかもしれないと思う。現在も施設の問題があり、さらに対象児童の増加となると施設の関係も出てくるが、今後、ニーズ調査も含めて検討していきたい。

- ④ 寒河江の活性化のためには、市外の人をいかにして呼び込むかが必要と思う。最上川寒河江緑地は、ハイキングロードもあり、オートキャンプ場やコテージを設置して、料金はしっかり貰うというのはどうだろうか。朝日自然観や、大江町の大山公園は、結構人気があるようだ。

- いいアイデアだ。ただ、緑地は河川敷で建物のような構造物は建築できない。ただ、チェリクアパークには宿泊施設等もあり、最上川ふるさと総合公園と緑地を結んで、カヌーやフットパスなど周遊コースの構想は考えていきたい。

ところで、チェリクアパーク内に防災機能をもつ、室内型多目的運動施設を建設する予定だ。交通の利便を考えて場所をチェリクアパークに考えたわけで、ウォーキング等のイベントの会場としても使えるので、これらも含め有効的に活用を図っていきたい。

- ⑤ 市の活性化を考えた場合、夜遊ぶところが飲み屋しか見当たらない。たとえば、夜景を楽しめる場所などはどうだろうか。長岡山や、最上川ふるさと総合公園にイルミネーションなどをすればいいのではないかと思う。

- ユニークな意見だ。ちょうど、長岡山の整備を検討している。道路の整備や、花咲か山構想、桜やつつじの整備等だが、それ以外の時期も楽しめるようにデートコースや夜景を楽しめるようなことを考えてもいいのかもしれない。

- ⑥ 子育て世代として、天気の良い時はどこでも楽しめるが、雨天の時は遊び場所が少なく行く場所が限られる。例えば、パチンコのアイランドの建物など、現在使われていない建物などの有効利用はできないものか。

- 今回ハートフルセンターに“ゆめは一と寒河江”を整備した。他市の施設からすると、人口当たりの面積としては一番大きいですが、他市の人も多数来場しており市内6割市外4割の利用状況である。そのことからすると、寒河江市は、施設を整備する場合は常に西郡全体のことを視野に入れながら整備す

る必要がある。なお、民間の建物の有効活用については、色々な問題が絡んでくるので難しいが、今後も子供さんが楽しめる場所の充実に努めていきたい。

- ⑦ 市の活性化には、遊び心が重要と思う。たとえば大石田や河北町にはゴルフ場があるが、寒河江にも欲しいと思う。

防災上で気になっているのが、近年高瀬山付近から緑地にかけて、最上川左岸がえぐられており、浸食が進んでいる。高瀬山など、危険な場所も出てきており、今後の整備はどうなっているのか。

さくらんぼの生産量がだんだん減少している。生産者も減少している。減少を食い止めるための方策が必要でないか。

神輿の祭典が定着しているように見えるが、実際は神輿の担ぎ手が減ってきている。将来のことを考えた場合、市ではどう考えているか。

- グランドゴルフや、パークゴルフについても要望がある。ゴルフ場についても開発者が名乗りを上げていただくことが必要だが、相談あれば検討していきたい。

最上川左岸の浸食については国にも要望しているが、状況を見ながらさらに強力に要望していきたい。なお、最上川緑地の部分については本年度中に整備する予定ということを知っている。

さくらんぼの生産量減少対策には、やはり労働力の確保が必要で、後継者育成が重要と考えている。また所得の向上が必要で、経済の原則で、儲ければ参加者が出てくると思う。

一方、少ない労働力でも生産できる、わい化栽培等の方策の推進も考えていきたい。地元には園芸試験場もあり、意見交換会を実施しているが、色々な面で紅秀峰が有力と思われる。今後、栽培技術の向上や販路を海外に求めるなど、高値で取引できるようPRなどにも努めていきたい。

神輿については、若い人の加入が少ないということを知っている。長年やってきたわけだが、山形市などでは意外に知らない人が多いようだ。もっと神輿について市外の人にも宣伝をして、担ぎ手の外人部隊の積極的な導入が必要ではないか。

また、神輿の修繕等についても支援が必要と思っている。30年続けば無形文化財の指定も視野に入れる必要があるのではないか。

- ⑧ 冬になると雪の問題がある。山形市の場合、除雪と排雪をセットにして実施している。寒河江でも、そのような対応できないのか。

- 雪の問題は切実だ。山形市は、雪が少ないこともあるが、実はあまり除雪していない。ただ、雪を置く場所がないため、排雪とセットでやらざるを得ないこともあると思う。

除雪は雪の多い地方ほどていねいになされているのが実態だ。山形より寒河江、寒河江より西川町となっているようだ。

なお、地区によっては雪を押し場所がない場合などが考えられる。排雪が必要な場合については、個別に対応しているので、具体的な内容を担当のほうに連絡してもらったほうが問題が早く解決すると思う。排雪の必要な時には、担当課に相談をしてほしい。